

「C' BON Family Day」を母の日に実施しました！
5月14日(日) 栃木県・上三川町の同社 生産・研究開発センターにて
104名が参加、栃木県知事・福田富一氏が開会式ご挨拶と見学も

化粧品、医薬部外品等製造販売の株式会社シーボンは、女性の“美を創造し、演出する会社”という企業理念のもと、女性の幸せで明るい生き方を応援する企業として、やりがいと責任をもって澁滞と働き続けて頂くための制度を整えています。一部上場企業では1%しかいない、女性社長、そして役員の上半以上が女性取締役、執行役員などで、管理職もほとんど女性という、日本でも数少ない女性活躍企業です。そのシーボンが、昨年2015年から実施している取り組みが、働くお母さんの職場や仕事内容を家族に知ってもらうための「C' BON Family Day (シーボン ファミリー・デイ)」。6回目となる今回は、“母の日”となる5月14日(日)に、栃木県河内郡上三川町にある自社生産2拠点(生産・研究開発センター)にて開催し、104名が参加しました。

● 「C' BON Family Day」 “母の日” イベント内容

開催日時：2017年5月14日(日) 10:00 ~ 14:00

開催場所：生産2拠点

●(株)シーボン「研究開発センター」栃木県河内郡上三川町多功2570-3

●(株)シーボン「生産センター」 栃木県上三川町多功2524

TEL 0285-53-0485 (代表)

参加者数：104名



研究開発センター

【職業体験のメインテーマ】母の日企画 お母さんにプレゼントする化粧品をつくらう！

栃木県は「とちぎ女性活躍推進プロジェクト」を実施しており、当社も49年前から栃木県に化粧品の生産拠点を置き、昨年より女性活躍推進企業として栃木県男女共同参画事業への活動協力をしている関係で、今回の福田知事来訪となりました。

子供たちのお仕事体験では、研究開発センターの研究部門にて、お母さんにプレゼントするオリジナル化粧水をつくりました。生産センターでは、つくった化粧水を、実際の生産ラインにて、ラベル貼り・包装などの仕上げを行いました。



栃木県知事・福田富一氏よりご挨拶



子供用の白衣に身をつつみ化粧水づくり。知事も一緒に



つくった化粧水にラベルを貼って包装しました



物流体験では機械を使ってバーコードをスキャン



シーボンでは、今後も人事制度の充実やさまざまな企画を通じて、「女性が働きやすく、家族を大切にする職場づくり」を実践し、よりよいサービスの提供につながるよう、ワークライフバランスの推進に取り組んでいきます。

社員の夢をカタチにした「C' BON Family Day」

「シーボン ファミリー・デイ」は、2014年10月から始まったシーボン独自の学びの場「C' BON カレッジ」から誕生しました。「C' BON カレッジ」とは、『会社を通じて実現したい 私の夢をカタチにする』と題した全5回のワークショップの中で、夢の『企画』から『プレゼンテーション』までをバックアップするもの。最終回では、夢を伝えるためのプレゼン大会が開催されました。その時に、『シーボンで働く全ての女性を幸せにする為に』という内容をプレゼンテーションした社員のアイデアが採用され、実現化したものです。

プレゼンした社員の思いとは

- “お母さんフェイシャリスト”と家族の思い出づくりと、感謝の気持ちを伝えるファミリーイベントを行いたい。
- イベントを通じて子育て経験のないスタッフも子供たちと触れ合うことで、思いやり・助け合いの気持ちが生まれる関係を築いて欲しい。
- また、子育て期の各段階に応じて多様な働き方の選択ができる中、シーボンで働き続ける意義・思いを、“お母さんフェイシャリスト”からこれから結婚出産をするスタッフへ伝えていきたい。

【会社概要】株式会社シーボン（東京証券取引所市場第一部／証券コード：4926）／化粧品、医薬部外品等製造販売
本店：東京都港区六本木七丁目18番12号／資本金：4億7,406万円／代表取締役兼執行役員社長：金子靖代

【クレジット表記のご案内】株式会社シーボン 本店 〒106-8556 東京都港区六本木七丁目18番12号
フリーダイヤル 0120-18-4074 <http://www.cbon.co.jp>

株式会社シーボン 〒216-8556 神奈川県川崎市宮前区菅生一丁目20番8号<シーボン パビリオン>

■広報担当 瀧川 朗子 pr@cbon.co.jp TEL 044-979-2397(直) FAX 044-979-2591

■IR担当 岸 真由子 ir@cbon.co.jp TEL 044-979-1620(直) FAX 044-979-2593